# 取扱説明書

**この取扱説明書は LabSVIFT トランスミッターと Gen.3 機器が繋がれたときの Gen.3 機器の操作について説明します。**

| | |
|---|---|
| 注意 | **LabSVIFT トランスミッターと Gen.3 機器を接続するときは、LabSVIFT トランスミッターの取扱説明書を確認して行う**<br>不慮の事故の原因となります。 |

# 対応機器一覧

接続可能な弊社機器については、「対応機器一覧」をご参照ください。

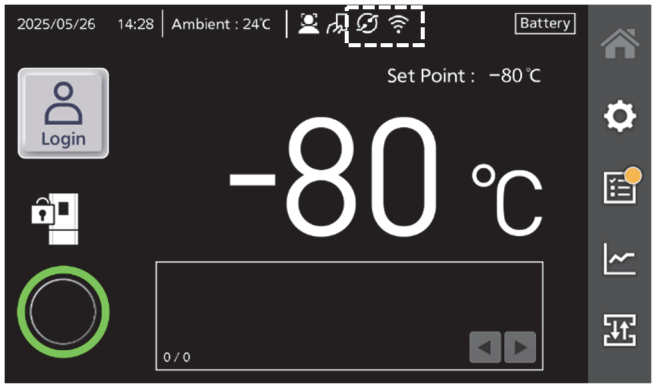
■対応機器一覧
https://www.phchd.com/jp/biomedical/interface/labsvift#models

# 超低温フリーザー、インキュベーター

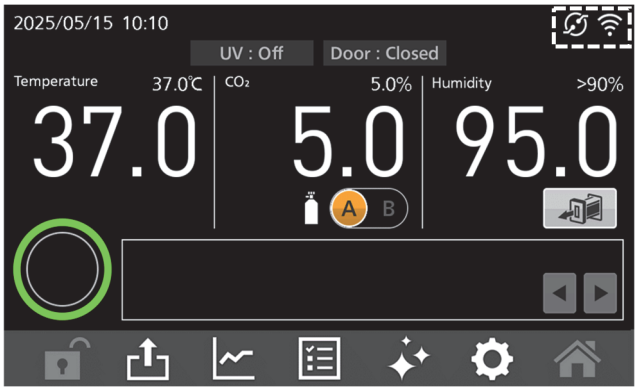
## 1.パネルに表示されるアイコン

Gen.3 機器が LabSVIFT トランスミッターと接続されたとき、Gen.3 機器の画面に次のアイコンが表示されます。

超低温フリーザー




インキュベーター




| アイコン | 名称/内容 |
|---|---|
| | LabSVIFT トランスミッター接続アイコン<br>Gen.3 機器が LabSVIFT トランスミッターと接続しているときの状態を表示します。<br>・接続されていて、通信もできている状態（正常）<br>・接続されているが、通信ができていない状態（異常）<br>・表示なし：未接続 |

<table>
<tr><th>アイコン</th><th>名称/内容</th></tr>
<tr><td>（接続状態に応じて、どちらかが表示されます）</td><td>LabSVIFT トランスミッター通信アイコン<br>LabSVIFT トランスミッターと LabSVIFT Web Service の通信状態を表示します。
<table>
<tr><th colspan="2">無線 LAN 通信の場合</th><th colspan="2">有線 LAN 通信の場合</th></tr>
<tr><th>アイコン</th><th>状態</th><th>アイコン</th><th>状態</th></tr>
<tr><td></td><td rowspan="4">通信していて、電波が強い状態<br>通信していて、電波が弱い状態</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">接続されていて、通信ができている状態</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">接続されているが、通信ができていない状態</td></tr>
<tr><td></td></tr>
<tr><td></td><td>切断されている状態</td></tr>
<tr><td>表示なし</td><td colspan="3">未接続</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

# 2.ソフトウェアのアップデート

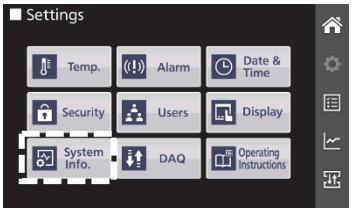
Gen.3 機器を LabSVIFT Web Service と接続している場合、LabSVIFT Web Service にある最新のソフトウェアにアップデートができます。アップデートは次の手順で行います。

<table>
<tr><th>超低温フリーザーの場合</th><th>インキュベーターの場合</th></tr>
<tr><td>

**1. サイドバーメニューの設定ボタン をタップする**

▶Setting 画面が表示されます。

**2. Settings 画面の System Info.ボタンをタップする**



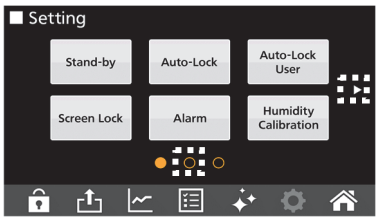

▶システム情報を示す System Info.画面が表示されます。

</td><td>

**1. メニューバーの設定ボタン をタップする**

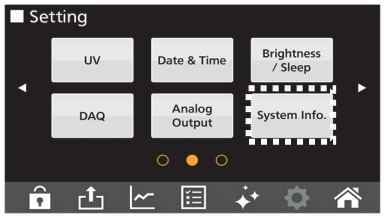
▶Setting 画面が表示されます。

**2. ▶ボタンかページインジケーターのラジオボタンの中央をタップする**




▶ Setting 画面の 2 ページ目が表示されます。

**3. System Info.ボタンをタップする**




▶System Info.画面が表示されます。

</td></tr>
</table>

**以降の操作は同じです（説明はインキュベーターの画面仕様となっています）**

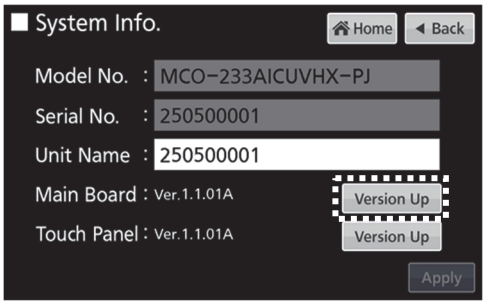
**4. Main Board もしくは Touch Panel の右側に表示されている Version Up ボタンをタップする**

▶アップデート履歴の内容が確認できる Release Notes が表示されます。

お知らせ

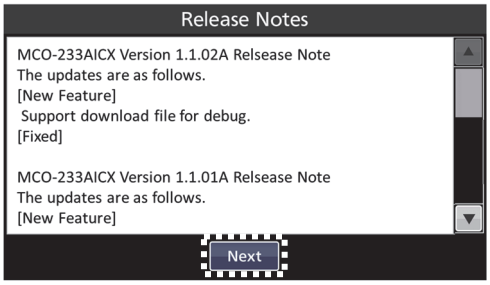
・Version Up ボタンは本製品が最新のバージョンになっている場合は表示されません。

・Main Board と Touch Panel を同時におこなうことはできません。それぞれアップデートをしてください。



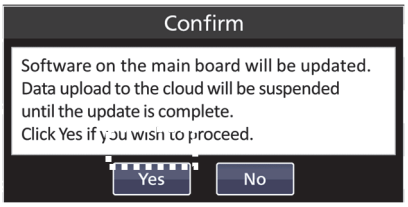

**5. アップデート履歴の内容を確認して、Next ボタンをタップする**

▶アップデート開始を確認する Confirm メッセージが表示されます。




**6. Yes ボタンをタップする**

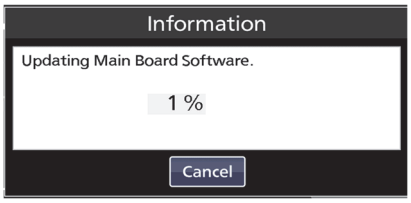
▶Information メッセージが表示され、ソフトウェアのアップデートが開始されます。No ボタンをタップすると、System Info.画面に戻ります。




お知らせ

・アップデートは、それぞれ約 10 分かかります。

・アップデート中は、Information メッセージにアップデートの進捗を示す数値が表示されます。また、この画面にある Cancel ボタンをタップするとアップデートが中止されます。

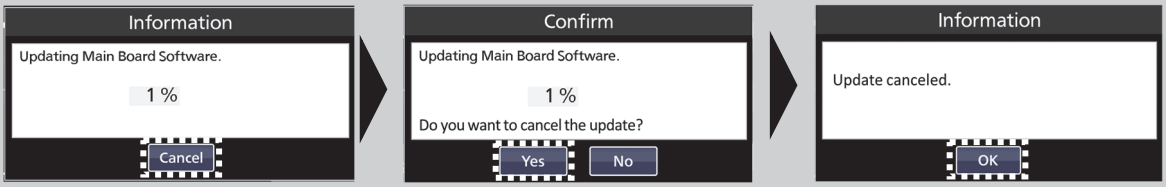



**アップデートを中止する場合**

Cancel ボタンをタップする
▶Confirm メッセージが表示されます。

Yes ボタンをタップする
▶Information メッセージに移行します。No ボタンをタップすると、Information メッセージに戻ります。

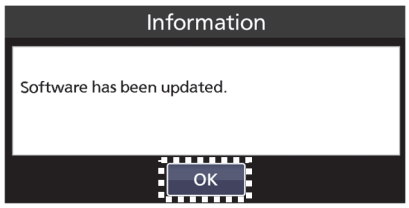
OK ボタンをタップする
▶アップデートは中止され、System Info.画面に戻ります。



**手順 7 以降は、Main Board, Touch Panel で操作が異なります。**

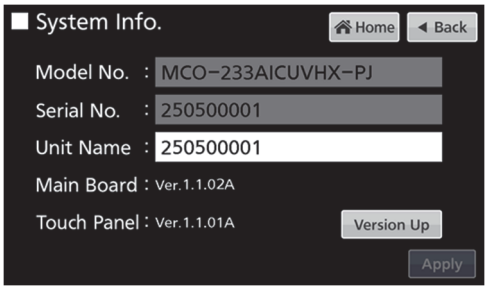
## Main Board の場合

**7. アップデートが終了すると、Information メッセージが表示されるので、OK ボタンをタップする**




▶System Info. 画面が表示されます。この時、新しくなったソフトウェアのバージョンが表示され、Version Up ボタンが消えます。

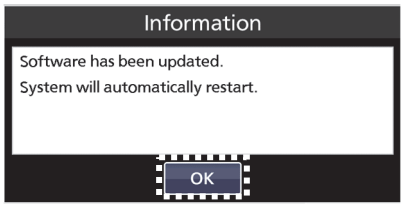
**8. 新しくなったソフトウェアのバージョンが表示され、Version Up ボタンが消えていることを確認して、Home ボタンをタップする。**




▶Home 画面に戻ります。

## Touch Panel の場合

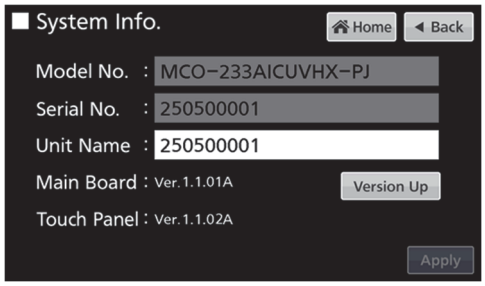
**7. アップデートが終了すると、Information メッセージが表示されるので、OK ボタンをタップする**




▶タッチパネルのソフトウェアが再起動し、Home 画面が表示されます。

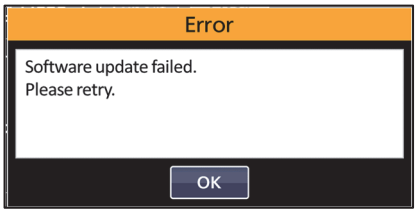
**お知らせ**

Touch Panel のソフトウェアアップデートの確認は、System Info. 画面を再表示すると新しくなったソフトウェアのバージョンが表示され、Version Up ボタンが消えていることを確認します。




**お知らせ**

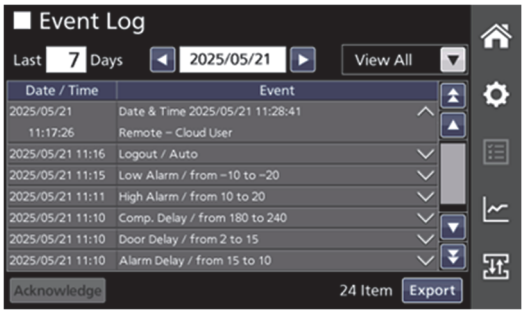
アップデート中に何らかの原因で LabSVIFT トランスミッターとの接続切れる、もしくはネットワークの切断が発生してアップデートが失敗した場合は、メッセージが表示されます。OK ボタンをタップして接続ができていることを確認して再度初めから行ってください。



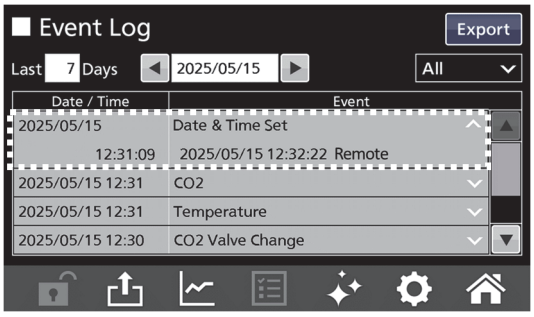

# 3.その他

・LabSVIFT Web Service に接続した場合、Date & Time 画面での数値変更はできません。このような場合、数値を変更する前に LabSVIFT Web Service との接続を遮断してください。
・LabSVIFT Web Service に接続している場合、LabSVIFT Web Service の時刻と Gen.3 機器の時刻が±10 秒以上の差があるときには、Gen.3 機器の時刻が自動的に LabSVIFT Web Service の時刻に調整されます。その際、Event Log 画面に、時刻変更の内容が表示されます（変更された日時、LabSVIFT Web Service の時刻に変更された表示を示す"Remote"の表示がされます）。

超低温フリーザー




インキュベーター

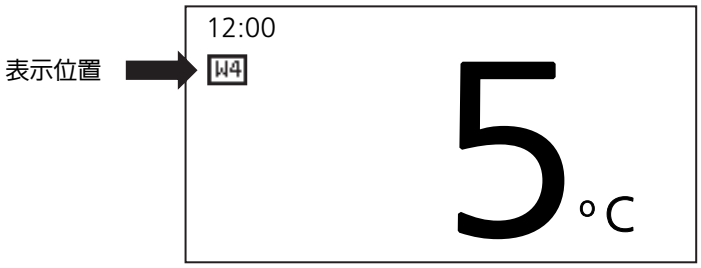



・LabSVIFT Web Service を利用してソフトウェアのアップデートを実施している間（約 10 分）は、イベント履歴情報、運転履歴情報の LabSVIFT Web Service への送信は中断されます。
（各履歴データが欠落することはありません。）

# 薬用冷蔵ショーケース

## 1.ホーム画面

<LabSVIFT トランスミッター接続表示>
LabSVIFT トランスミッターを Gen.3 機器に接続すると、接続・通信状況によって以下のような表示がホーム画面に示されます。




表示詳細

1. Gen.3 機器と LabSVIFT トランスミッターの接続状況および、LabSVIFT トランスミッターと LabSVIFT Web Service の無線 LAN での通信状態を表示します。

| 表示 | | 通信状態 |
|---|---|---|
| Gen.3 機器と LabSVIFT トランスミッターの接続がされていて、LabSVIFT Web Service との通信も出来ている状態。 | Gen.3 機器と LabSVIFT トランスミッターの接続はされているが、LabSVIFT Web Service との通信が出来ていない状態。 | |
| W4 | W4 | 通信していて、電波が強い状態 |
| W3 | W3 | |
| W2 | W2 | |
| W1 | W1 | 通信していて、電波が弱い状態 |
| W0 | W0 | 切断されている状態 |
| 表示なし | | 未接続 |

2. Gen.3 機器と LabSVIFT トランスミッターの接続状況および、LabSVIFT トランスミッターと LabSVIFT Web Service の有線 LAN での通信状態を表示します。

| 表示 | 状態 |
|---|---|
| L | 接続されていて、通信もできている状態（正常） |
| L | 接続されているが、通信ができていない状態（異常） |
| 表示なし | 未接続 |

# 2.ソフトウェアのアップデート

Gen.3 機器を LabSVIFT Web Service と接続している場合、LabSVIFT Web Service にある最新のソフトウェアにアップデートができます。アップデートは次の手順で行います。

1. ホーム画面（温度表示画面）が表示されている状態で、メニューキー（MENU/HOME）を押してください。
   ▶Menu 画面が表示されます。

2. 上下選択キー（△▽）でMenu 画面のカーソルをAlarms & Controlsに合わせ［図1］、エンターキー（ENTER）を押してください。
   ▶Alarms & Controls画面が表示されます。

3. 上下選択キー（△▽）でAlarms & Controls画面のカーソルをSystem Info.に合わせ［図2］、エンターキー（ENTER）を押してください。
   ▶System Info.画面が表示されます［図 3］。

```
Menu
   Set Temp.                5 ºC
   Keypad Lock
   Temp. Max / Min
   Data Log
▶ Alarms & Controls
```

【図 1】

```
Alarms & Controls
   Light Setting            ▲
   Comp. Delay
   Rail Heater
   DAQ Setting
   Date & Time
▶ System Info.
```

【図 2】

4. 上下選択キー（△▽）で、アップデートするソフトウェアにカーソルを合わせ［図 3］、エンターキー（ENTER）を押してください。
   ▶ソフトウェアのアップデート開始を確認する、Confirm SW update 画面が表示されます　［図 4］。

   アップデートが可能なソフトウェア:
   Ctrl:　Control Board ソフトウェア
   Disp:　Display Panel ソフトウェア
   IoT:　IoT Interface ソフトウェア

```
System Info.
  PN MPR-S1201XH-PJ
  SN 2060001
▶Ctrl    V1.00        Up
 Disp    V1.00        Up
 IoT     V1.00        Up
```

【図 3】

```
Confirm SW update
   Date Uploads will
    be paused until
    SW is updated.
   Press Any Key
```

【図 4】

お知らせ
ソフトウェア名の右側に「Up」が表示されている場合はアップデートが可能です。「Up」が表示されていない状態でエンターキー（ENTER）を押すと、［図 5］の画面が表示されます。この場合は、コントロールパネル上のいずれかのキーを押すと System Info.画面に戻ります。

```
SW update
   No update
   Press Any Key
```

【図 5】

5. コントロールパネル上のいずれかのキーを押してください。
   ▶選択したソフトウェアのアップデート開始画面が表示されます［図 6］。

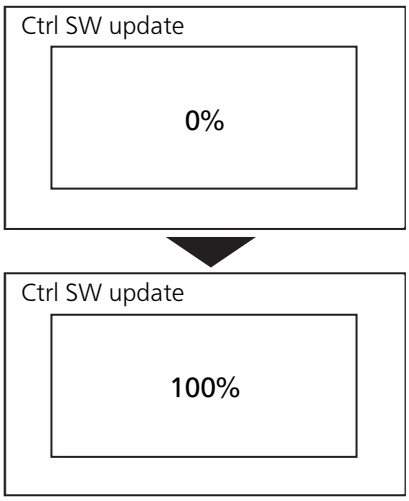
6. 上下選択キー（△▽）を押してYES に変更してください。
   ✧上下選択キーを押すごとに入力値が YES、NO と変わります。

```
Ctrl SW update
   ▲
   NO
   ▼
   YES / NO
```

【図 6】

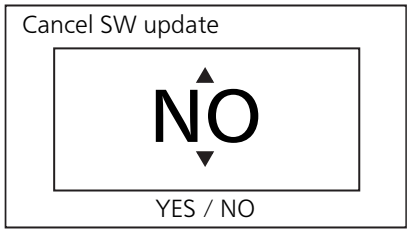
7. エンターキー（ENTER）を押してください。
▶ソフトウェアのアップデートが開始されます。

お知らせ
- ソフトウェアのアップデート中は、Information メッセージにアップデート状況を示す数値が表示されます［図 7］。
- 各ソフトウェアのアップデートは、約 10 分かかります。



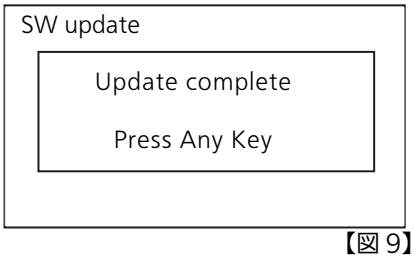
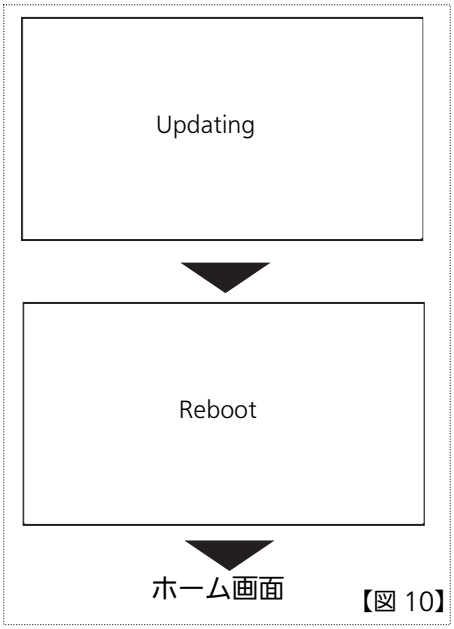
【図 7】

- アップデートを中止するには、コントロールパネルの CANCEL ボタンを押して、Cancel SW update 画面を表示します［図 8］。この画面で、上下選択キー（△▽）を押して YES を選択して、エンターキー（ENTER）を押してください。System Info.画面に戻り、アップデートは中止されます。
✧上下選択キーを押すごとに入力値が YES、NO と変わります



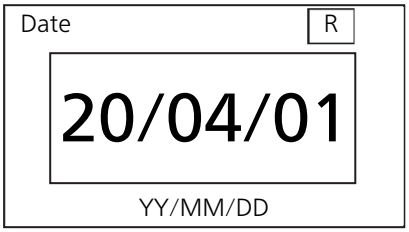
【図 8】

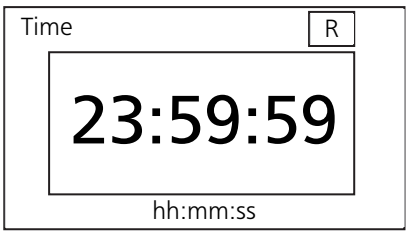
**手順 8 以降は、Control Board/IoT Interface, Display Panel で操作が異なります。**

| Control Board/ IoT Interface ソフトウェアの場合 | Display Panel ソフトウェアの場合 |
|---|---|
| **8.** ソフトウェアのアップデートが終了すると、アップデート終了メッセージが表示されます［図 9］。この画面で、コントロールパネル上のいずれかのキーを押してください。<br>▶System Info.画面が表示されます。ソフトウェアのバージョンがアップデートされていて、ソフトウェア名の右側の「Up」の表示が消えていることを確認してください。<br>  <br><br>【図 9】<br>**9.** メニューキー（MENU/HOME）を押すとホーム画面（温度表示画面）に戻ります。 | **8.** ソフトウェアのアップデートが終了すると、Display Panel のソフトウェアが再起動し［図 10］、ホーム画面（温度表示画面）が表示されます。<br>  <br><br>【図 10】<br>お知らせ<br>Display Panel のソフトウェアアップデートの確認は、System Info. 画面を再表示すると新しくなったソフトウェアのバージョンと、ソフトウェア名の右側の「Up」の表示が消えていることを確認してください。 |

# 3.その他

・LabSVIFT Web Service に接続すると、Date & Time 設定画面 の Date、Time、Time Zone 画面の右上の隅に“R”が表示され、数値を変更することができなくなります。また、LabSVIFT Web Service の時刻と Gen.3 機器の時刻が±10 秒以上の差があるときには、Gen.3 機器の時刻が自動的に LabSVIFT Web Service の時刻に調整されます。



・LabSVIFT Web Service を利用してソフトウェアのアップデートを実施している間（約 10 分）は、イベント情報の LabSVIFT Web Service への送信は中断されます。
・ソフトウェアのアップデート中、庫内温度／イベント記録データを保存することができない期間が数分間存在するため、データの欠落が発生します。

LDCL092300-0

Printed in Japan
LDCL092300-0
J0725-0